

さんとめ通信 13号 2026・5月

さんとめどんぐり村運営委員会

4/29 (水)「春の生き物調査」を開催しました。新緑に染まったどんぐりヤマで、さまざまないのちに触れあうことができました。

ゴールデンウィーク直前でしたが、3家族(大人5名、子ども5名)が参加してくれました。森の保全活動の取材に来た「生活と自治」の人たちも加わり、講師の井草さん&村山さん(北中ネイチャークラブ)の先導で、どんぐりヤマを歩きながら植生を確認してゆきました。曇天による低温のためか、蝶やカナヘビは見つかりませんでしたが、キンランやギンランは、昨年と変わらぬ所に咲きひらいていました。ギンランがあちこちに繁殖していたのは、嬉しい驚きでしたね。



ひと回りした後、シイタケ栽培の原木コマ打ちを体験してもらいました。事前にドリルで開けた穴に、木槌で菌のコマを打ち込む作業を、子ども達が一生懸命やってくれました。子ども達は、リヤカーで原木置き場に運ぶまで手伝ってくれました。シイタケが顔を出すのは、来年の秋ごろになります。皆さん、楽しみにお待ちください。



【参加された皆さんからの感想の抜粋です。】

普段目にする事のない珍しい植物を教えていただいたり、しいたけのコマうちは、初めての体験で勉強になりました。(たか)

カナヘビ目当ての息子は残念だったようですが、それでも季節のイモムシなど小さい虫を見つかりながら楽しんでいました。自由に走り回って散策できる林、貴重でありがたいです。(NN)

鳥の声を聞きながら、緑の中を歩いて、楽しく学びリフレッシュできました。分かりやすい写真付きの資料もありがとうございました。子どもにとって、「絶滅危惧種」が動物だけでなく植物にもあることを学び、椎茸の種駒打ち体験も楽しかったようです。ありがとうございました。(MO)



次回は7月19日(日)カブトムシなど夏の生き物を探す「どんぐりヤマ探検隊」を開催予定。7月第1週 COMEON かもんで募集をします。皆さん、お見逃しなく！

(どんぐり村事務局 赤間)

※どんぐりヤマの使用ルール& 申込書式は、HP に載っています。こちらのQRでご覧ください。

